

浅海定線調査結果(令和5年7月4日)

福岡県水産海洋技術センター 豊前海研究所

1. 観測結果

	令和5年7月	平年値との差 (平年値)	昨年7月との差 (昨年7月観測値)	
水温 (℃)	表層	25.2	+ 1.1 (24.1)	- 2.1 (27.3)
	底層	22.4	+ 0.7 (21.7)	- 3.2 (25.6)
塩分 (PSU)	表層	25.51	- 4.82 (30.33)	- 7.14 (32.65)
	底層	31.67	- 0.47 (32.14)	- 1.35 (33.02)
透明度 (m)	4.0	- 0.6 (4.6)	- 1.0 (5.0)	

※ 観測値 : 周防灘12定点の平均値を表しています。
※ 平年値 : 過去30年分の同月平均値を表しています。

2. 概況

(1) 水温

・表層、底層ともにやや高めでした。

(2) 塩分

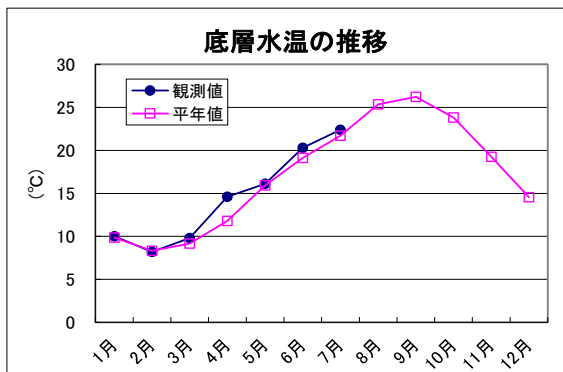
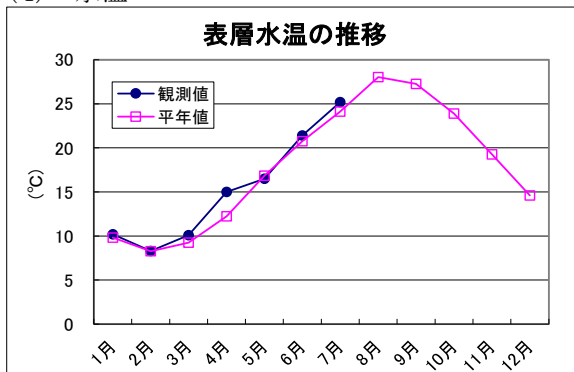
・表層は甚だ低め、底層はやや低めでした。

(3) 透明度

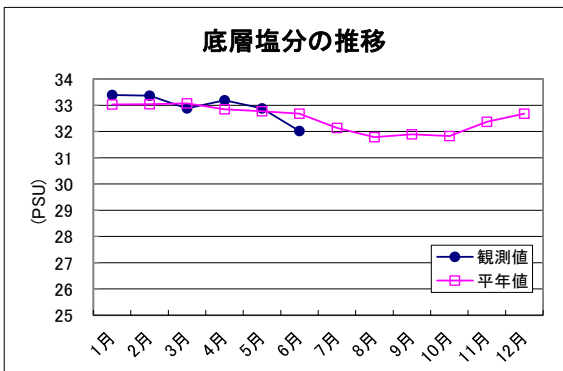
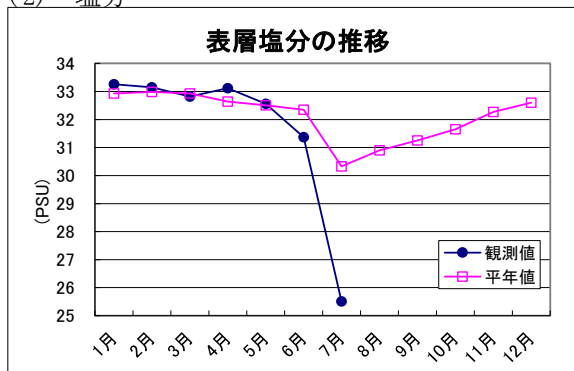
・透明度は平年並でした。

調査結果(グラフ)

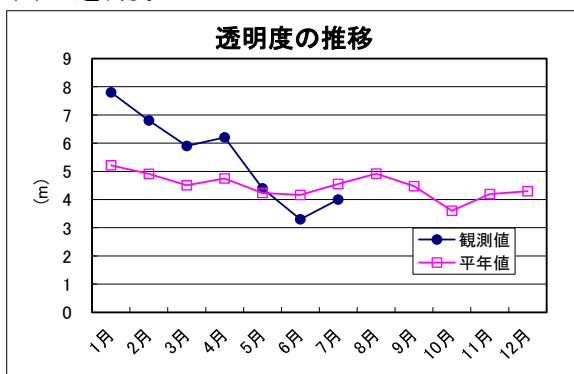
(1) 水温



(2) 塩分



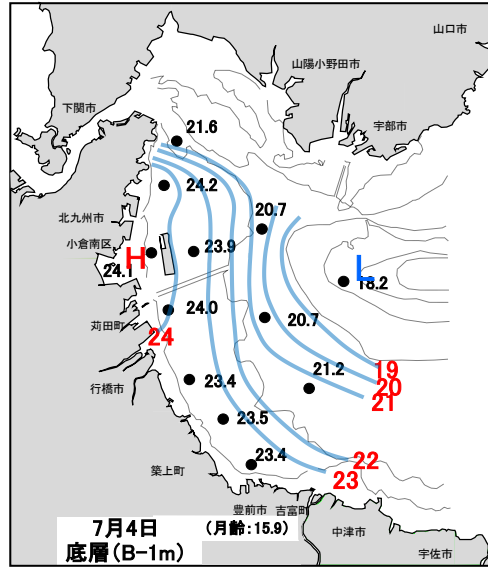
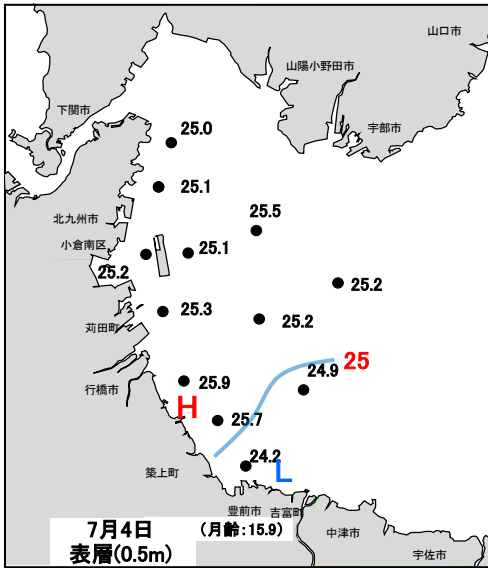
(3) 透明度



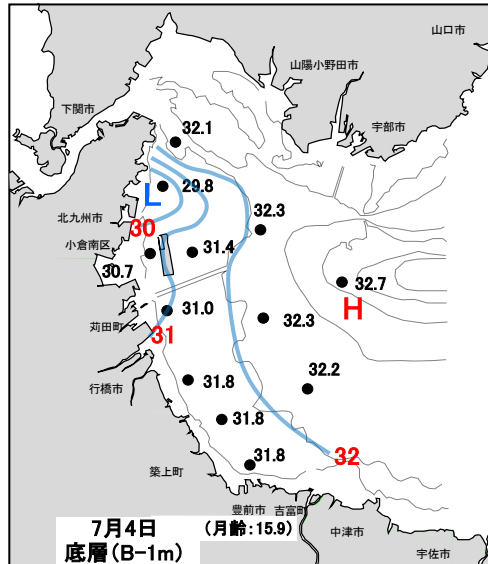
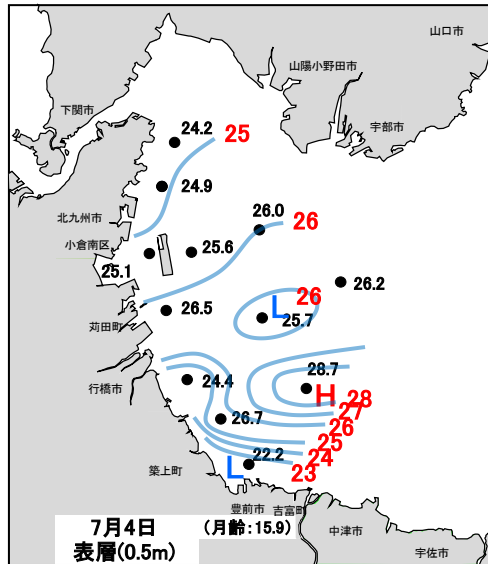
3. その他

- ・ 沿岸部では前日までの大雨の影響により、河川水の流入による海面の変色が確認されました。
- ・ 北部と南部の沖合には河川から流れてきた草木等が帯状に蟻集しています。
- ・ 大雨直後のため、表層の塩分濃度は過去30年で2番目に低い濃度となっています。
- ・ 沖合域の透明度は高いものの、沿岸域では低い値が見られています。
- ・ 麻痺性貝毒プランクトンは確認されませんでした。

水温



塩分



透明度

